

欧州食品安全機関(EFSA)との協力 - リスクコミュニケーション分野 -

食品安全委員会事務局
リスクコミュニケーション官

出張の概要

- 目的
 - 食品安全委員会と欧州食品安全機関(EFSA)との間の協力に関する協議
- 出張先
 - イタリア国パルマ市
- 出張者
 - 齊藤食品安全委員会事務局長
 - 境情報・緊急時対応課長
 - 永田リスクコミュニケーション官

訪問の概要(リスコミ関係)

- 訪問日程
 - 平成19年1月8日(月)～9日(火)
- 面会者
 - キャサリン・ジェスラン・ランネールEFSA長官
 - ヘルマン・ケーターEFSA副長官
 - アン・ローラ・ガッサンEFSAコミュニケーション部長
 - カレン・タルボットEFSAコミュニケーションアドバイザー ほか

ガッサン部長との協議

- 日時
 - 1月8日(月)13:30 - 14:30
- 内容
 - 当方から、日本のリスクコミュニケーション(リスクコミュニケーション専門調査会報告書のポイント)とメディア対応について、資料を用いて説明
 - 先方から、当方の説明に対する質問に続き、EFSAの最近のリスクコミュニケーションについて紹介
 - 当方から、今後のEFSAとの協力について提案

ガッサン部長との協議

- 主な議論
 - 日本での意見交換会開催回数の多さとその背景
 - 日本の食品安全モニター制度
 - 11月に開催されたEFSAの栄養・健康表示に関する会議
 - 消費者のリスク認知に関する調査の実施
 - EFSAのクライシス・コミュニケーションに関するワークショップ
 - EFSAにおけるリスクコミュニケーションの評価方法

ガッサン部長との協議

- 当方からの協力の提案
 - 消費者のリスク認知について、調査項目、調査手法等に関する情報の交換
 - EU加盟国を対象としたリスクコミュニケーションに関するワークショップなどへの日本からのオブザーバー参加
- ガッサン部長の対応
 - 消費者のリスク認知に関する調査については、積極的に協力
 - ワorkshopへの参加については、長官の判断

長官との協議(リスコミ関係)

- 日時
 - 1月9日(火) 11:00 - 12:30
- 主な論点
 - リスクコミュニケーションはEFSAの重点6分野の中の一つ
 - EFSAは、コミュニケーション・ポリシーの発展を図り、ステークホルダーとの対話を継続
 - ポリシーが目に見えること、効果の把握が重要
 - 日本の食品安全モニター制度に強い関心

長官との協議(リスコミ関係)

- 先方の提案
 - リスクコミュニケーションに関するワークショップなどへの日本からの参加を歓迎
 - リスク評価結果についての情報交換、リスク評価手法についての情報交換とともに、リスクコミュニケーションについても、日本から学ぶことは多いので経験の交流を提案
- 当方の提案
 - 最初の年次会合は、今年の秋頃、日本側がホストし、東京での開催を提案